

自民党京都市会議員団が提言し 実現した主な施策

●子ども医療費支給制度の拡充

小学校6年生まで、一部負担金上限を1医療機関月200円に引き下げ

●保育料の軽減

国基準の約7割に軽減している保育料を
令和6年度以降も当面据置き

●全員制中学校給食

全員制中学校給食実施に向けた調査に着手

●市営地下鉄の運賃値上げを回避

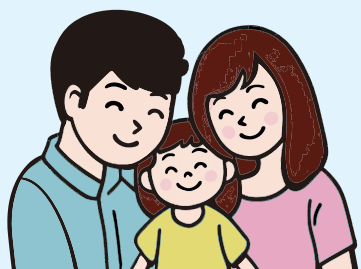
積極的な国への要望活動により、国の財政支援措置を実現

●コロナ・物価高騰対策

市民の暮らしを守り、地域企業の下支え・成長支援のため、
令和5年度1,721億円の当初予算を確保

●都市計画の見直し (建築物の高さ規制の緩和等)

居住空間創出による若者世代の移住定住
オフィス・ラボ誘導エリアをはじめとした企業立地促進



➡ 共産党、京都党・日本維新の会は、令和5年度予算案に反対

京都市会議員全64名の
報酬等を削減し、
1億1600万の財源を捻出。

救急車両を更新



京都市財政レポート

令和5年度 当初予算は
1兆7,940億円

全会計の予算規模

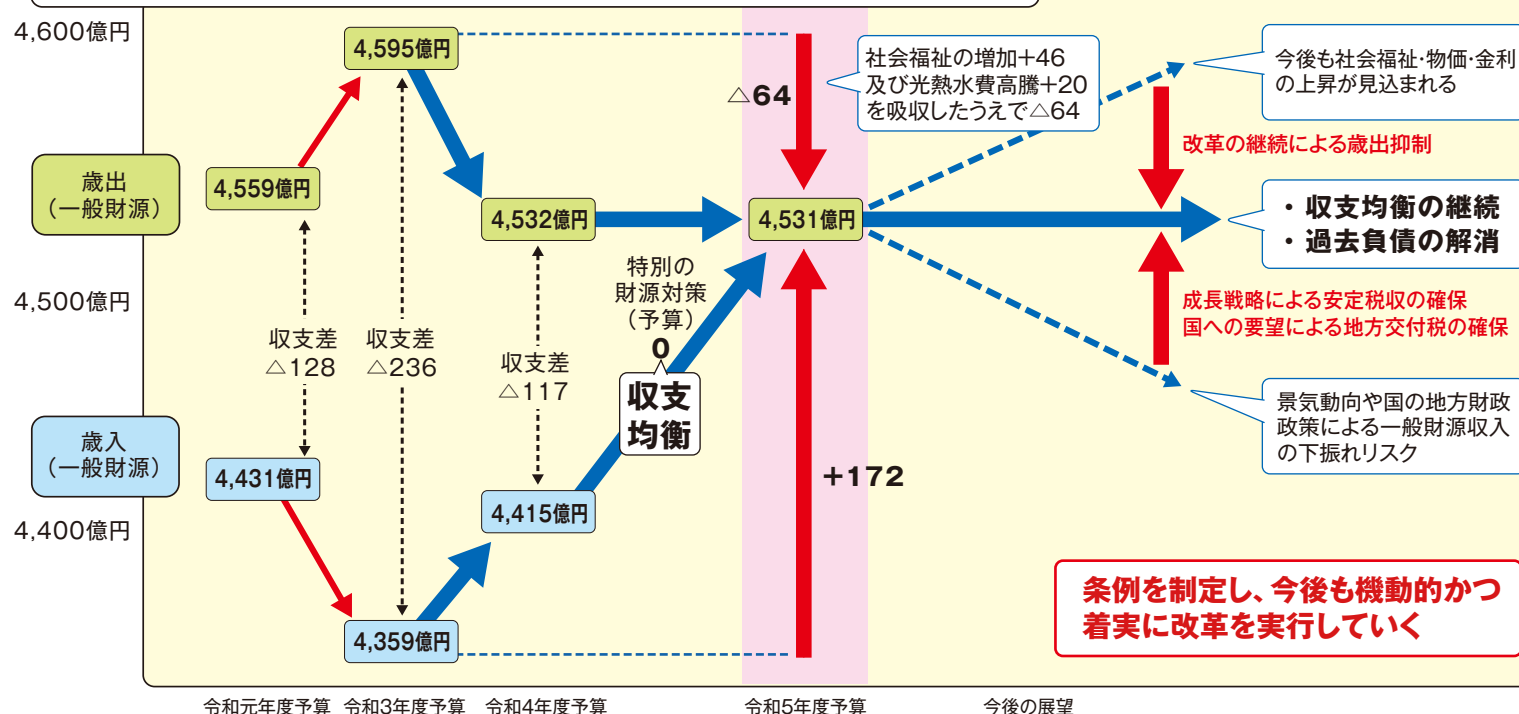
一般会計	9,315億円
特別会計	6,142億円
公営企業会計	2,483億円

令和5年度予算は「収支均衡」

本市においては、これまで、国や他都市の水準を上回る施策を推進する一方で、地方交付税の削減等により、長年にわたり収支不均衡が継続してきました。令和5年度予算では、この収支不均衡を完全に解消し、将来の借金返済のために積み立てている公債償還基金の計画外の取り崩しなどの特別の財源対策をゼロとしました。これは、市民の皆様のご理解のもと、

①職員数の削減や施策・事業の総点検などの行財政改革、②市税収入をはじめ、資産の有効活用、ふるさと納税寄付金等財源確保の努力、③自民党市会議員団が先頭に立った国家予算要望による地方交付税増額などによって、行財政改革計画目標を750億円上回る収支改善を果たすことができた成果です。今回、「京都市持続可能な行財政の運営の推進に関する条例」を制定し、実効性の担保をした上で、残る505億円の負債の早期解消、そして持続可能な京都市財政を確立してまいります。

集中改革期間中(令和3年度~5年度)の収支改善と今後の展望(イメージ図)



予算特別委員会において以下の質問を致しました(一部抜粋)

第1分科会

- 「持続可能な行財政の運営の推進に関する条例」の意義である今後の財政運営の道筋について市民の安心につながるよう示す必要性
- 若者・子育て世代の定住促進など、脱炭素先行地域創出事業による脱炭素以外の効果についての認識
- 京都芸大を核とした京都駅東部エリアの移住・定住促進施策のモデル地域化を含めた今後の事業展開
- 市民生活向上のためのマイナンバーカードの普及促進について
- 総合計画の在り方検討に向け、市民意見を十分に取り入れながら丁寧に議論を進める必要性
- 総合企画局を司令塔として関係部局とチームを組み、抜本的な人口減少対策に向けた戦略を早急に練り具体的に議会に示すべき

第2分科会

- 積極的な財政出動を実施し、経済の好循環を生み出すこと
- 具体的な必達目標を掲げ、非居住住宅利活用促進税の取組を着実に進める必要性
- 担税力の強化やまちの魅力創出に向けて伏見区における土地区画整理事業をスピード感と熱意を持って取り組むこと
- 地域人材や専門家と連携した学校における伝統文化体験の充実
- 美術工芸高校の移転に対する新入生や在校生の受止め及び新しい取組内容や京都芸大と連携した取組

第3分科会

- 将来のバス・バス無料乗継ぎにもつながるポイントサービス導入の趣旨を市民に分かりやすく説明すること
- 環境教育にも資するミスト装置の設置を児童福祉施設等の公共施設に広げる必要性
- 企業立地促進のためのオフィス・ラボ誘導実現に向けて情報発信と支援インセンティブ、用地確保に取り組むこと
- 市民や観光客に市バス車内に持ち込めない手荷物のサイズを認知してもらい、機運を高める必要性



右京区 田中たかのり 森田 守 井上よしひろ	西京区 田中 明秀 西村 義直 繁 隆夫	伏見区 橋村 芳和 みちはた弘之	北区 山本 恵一	上京区 中村三之助
上京区 寺田 一博	左京区 さくらい泰広	中京区 津田 大三 加藤 昌洋	東山区 平山たかお	山科区 富 きくお
下京区 下村あきら	南区 やますまい子 椋田 隆知			しまもと京司

私たち自民党市会議員団に
皆様のご意見やご要望をお寄せください。

自民党
京都市会議員団



TEL 075-222-3718 FAX 075-257-3091

〒604-8571 京都市中京区河原町御池上ル

https://jimin-kyoto.jp/ Eメール jimin3@nifty.com

自由民主党
京都市会議員団

市会報告
Vol.26